

妊孕性温存について

別紙7

○小児がん患者に妊孕性温存を情報提供する状況・方法

No	施設名	話す状況		紹介先			
		治療内容・予後に関係なく話す	治療内容・予後に応じて話すか決定する	がん担当医師から話し、強い希望があった場合のみ紹介する	早い段階で産婦人科・泌尿器科機関を紹介する	早い段階で生殖医療機関を紹介する	早い段階でがん・生殖医療登録施設を紹介する
1	千葉県こども病院		○			○	
2	千葉大学医学部附属病院		○				○
3	千葉県がんセンター		○	○			
4	順天堂大学医学部附属浦安病院	○				○	
5	東京女子医科大学附属八千代医療センター	—	—	—	—	—	—
6	松戸市立総合医療センター	○				○	
7	成田赤十字病院	○			○		
8	日本医科大学千葉北総病院		○	○			
9	亀田総合病院		○			○	

○妊孕性温存を希望する場合の対応について

No	施設名	対応状況
1	千葉県こども病院	初発時にすでに造血幹細胞移植の適応とされる血液悪性腫瘍疾患、GDDP、CYなどの妊孕性に影響する薬剤が相当量投与される固形腫瘍患者の場合、妊孕性温存の処置を考える。 男児で精子採取可能な児 → 千葉市内のARTを行っており、精子保存してくれる開業医に紹介 思春期女児（初経以降） → 千葉県内または都内で未受精卵保存、卵巣凍結保存を行ってくれる施設に紹介
2	千葉大学医学部附属病院	県外専門病院に卵巣保存を依頼している。自由診療であり高額である。思春期女子の心理的抵抗への配慮など。
3	千葉県がんセンター	県内の専門施設に紹介しているため、婦人科では今まで経験がない。
4	順天堂大学医学部附属浦安病院	他施設で治療中の患者が、当院産婦人科と協議し、原疾患の治療組織にあたり、妊孕性温存が必要となった場合、手術の際の輸血等の判断を当科で行った。
5	東京女子医科大学附属八千代医療センター	当院では対応していない。
6	松戸市立総合医療センター	小児神経外科では今まで希望があった事例がないが、ある場合は生殖医療機関を紹介する。小児脳神経外科以外の新規小児がん患者の診療は原則行っておらず、当院から妊孕性について案内することがない。
7	成田赤十字病院	白血病の場合、女性の場合、卵子温存、卵巣保存が難しい症例がある。
8	日本医科大学千葉北総病院	産婦人科、泌尿器科と相談して決める。
9	亀田総合病院	—